

|    |                |
|----|----------------|
| 公表 | 事業所における自己評価総括表 |
|----|----------------|

|                |                           |     |        |            |
|----------------|---------------------------|-----|--------|------------|
| ○事業所名          | 横浜市西部地域療育センター（児童発達支援センター） |     |        |            |
| ○保護者評価実施期間     | 令和6年11月18日                |     | ～      | 令和6年12月20日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)                    | 103 | (回答者数) | 82         |
| ○従業者評価実施期間     | 令和6年11月18日                |     | ～      | 令和6年12月20日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)                    | 18  | (回答者数) | 18         |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年3月26日                 |     |        |            |

○ 分析結果

|   | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること                           | 工夫していることや意識的に行っている取組等                                                                                         | さらに充実を図るための取組等                                                      |
|---|----------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|
| 1 | マンネリ化しないように普段体験できないようなものを含め、プログラムを工夫しながら実施することで、利用児の参加意欲を高める努力をしている。 | お子さんが季節感を感じられるよう、プログラムや行事を行っている。特に夏と秋には『わくわくプログラム月間』と期間を設け、夏祭り・水体験プログラム・お芋掘り・園外指導など行事を積極的に行っている。              | 近隣の保育園と交流の機会をつくり、お子さん同士が地域の中で触れ合う機会を通して、経験の幅が広げられるよう検討している。         |
| 2 | クラス内でスペースの確保が難しい中、パーティション等で個別スペースを作成することにより、落ち着けるスペースを確保している。        | クラス内では、お子さんが安心して過ごすことができるよう、パーソナルスペースの設定を心がけている。また、クラス内では学びの場所や給食を取る場所、遊びの場所など活動によって個々の場所が確保されており、構造化が図られている。 | クラス内に限らず共有スペースなども用いて、お子さんの過ごし場所を確保していく。安全に安心して過ごせるよう、遊具や設定にも配慮していく。 |
| 3 | センターでは、各課に専門職を配置し、多職種で連携して子どもの支援にあたっている。                             | お子さんの発達や成長を多職種(PT/OT・心理など)と年間数回カンファレンスを実施し共有することで、個々の対応や集団療育に生かした療育プログラムを展開させている。                             | 子ども支援のみならず、保護者や家庭支援などをより充実させるため、多職種とも保護者教室や懇談などのテーマ等を再検討していく。       |

|   | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること                 | 事業所として考えている課題の要因等                                                                                             | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                                                                 |
|---|------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 限られたスペースでの実施となり、集団指導室や園庭等で複数クラスが一緒に利用する場面ではスペース的に物足りない。    | 過ごし場所はお子さんが安全に安心して過ごせるよう、遊具の配置や設定をスタッフで数ヶ月ごとに検討している。また、プログラムでも集団指導室を使用し、一クラスでじっくり取り組める時間を作っている。               | 空いた部屋などを有効活用し、子どもの過ごす場所を検討する。                                                        |
| 2 | 体制が不安定な時期もあり、職員の知識や経験にバラつきがあると感じられる保護者もいる。                 | 各クラスにスーパーバイズを設置し、クラス運営や保護者支援について指導を受けている。また、職員の急な休みに対し、西部療育センター内でも通園の体制を共有化し、支援を受けられる体制を作っている。                | 職員のスキルアップを図るため、職員研修をより充実させ、より専門性を高めるよう自己研鑽を図っていく。                                    |
| 3 | 保育所・幼稚園との交流や他の事業所との連携については、人員体制の問題やコロナなどの外部要因により十分にできていない。 | コロナ禍より保育園交流が中止されていたため、地域交流が実施できていない。一方お子さんにとって間接的支援ではあるが、近隣の商工高校に『おもちゃのお医者さん』として、通園で使用している故障したおもちゃを治してもらっている。 | 令和7年度は近隣の保育園との交流会を再検討し、お子さん同士の交流を予定している。また、必要性がある療育参観や園訪問のに対して、体制を整え地域連携を図れるようにしていく。 |

| 事業所名                          |    | 公表日                                                                                                                        |    |               |     |       | 回収数                                                                                       |                                                       |
|-------------------------------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---------------|-----|-------|-------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|
| 横浜市西部地域療育センター<br>(児童発達支援センター) |    | 令和7年3月26日                                                                                                                  |    |               |     |       | 82名                                                                                       |                                                       |
|                               |    | 利用児童数                                                                                                                      |    |               |     |       | 103名                                                                                      |                                                       |
|                               |    | チェック項目                                                                                                                     | はい | どちらとも<br>いえない | いいえ | わからない | ご意見                                                                                       | ご意見を踏まえた対応                                            |
| 環境・<br>体制<br>整備               | 1  | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。                                                                                             | 68 | 10            | 4   | 0     | ・室内のプレイルームは、雨の日で外で遊べない日は多くの子供が使用するので少し狭く感じる。<br>・運動できるスペースが少ない。                           | ・お子さんが安全に安心して過ごせるよう、遊具設定や配置について随時見直しを行います。            |
|                               | 2  | 職員の配置数は適切であると思いますか。                                                                                                        | 66 | 12            | 4   | 0     | 担任1人と副担任だけなので、たまに補助の先生が必要な気がする。                                                           | クラスの状況に応じて非常勤やフリースタッフを検討します。                          |
|                               | 3  | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。                               | 82 | 0             | 0   | 0     |                                                                                           |                                                       |
|                               | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。                                                            | 77 | 5             | 0   | 0     | ・子供達の特性に合わせた過ごしやすい環境だと思う。<br>・冷暖房などの空調が、時々涼しすぎたり暑く感じる時がある。                                |                                                       |
| 適切な<br>支援の<br>提供              | 5  | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。                                                                           | 77 | 5             | 0   | 0     | 先生により差を感じる時はあるが、ほとんどの方が十分に理解されていると思う。                                                     |                                                       |
|                               | 6  | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。                                                                               | 76 | 3             | 0   | 3     | もう少しチャレンジプログラムがあっても良いと思う。                                                                 |                                                       |
|                               | 7  | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。                                                    | 80 | 2             | 0   | 0     | 言葉で説明されたのみで、文書化された計画書から読み取りにくく「後付け？」と感じることがあった。                                           |                                                       |
|                               | 8  | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。    | 78 | 3             | 0   | 1     |                                                                                           |                                                       |
|                               | 9  | 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。                                                                                               | 78 | 4             | 0   | 0     |                                                                                           |                                                       |
|                               | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。                                                                                        | 73 | 8             | 0   | 1     | 運動系や創作系など、色々なプログラムがあり、また、普段体験できないこともり、すごく子供が楽しんでいる。                                       |                                                       |
|                               | 11 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。                                                                             | 36 | 14            | 18  | 14    | 保育園や幼稚園の先生は来られているが、子供たち同士の交流は難しい。                                                         |                                                       |
| 保護者<br>への<br>説明等              | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。                                                                            | 81 | 1             | 0   | 0     |                                                                                           |                                                       |
|                               | 13 | 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。                                                                                          | 81 | 1             | 0   | 0     |                                                                                           |                                                       |
|                               | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。                                                       | 80 | 1             | 0   | 1     |                                                                                           |                                                       |
|                               | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。                                                                      | 75 | 5             | 1   | 1     | 毎回担任の先生とゆっくり話す時間があるとは限らないので、重要でない話みたいな内容はしょっちゅう伝えられない。                                    | 懇談や面談以外でも、お子さんの状態像について相談できる時間を確保し、安心して通って頂けるよう努めます。   |
|                               | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。                                                                                            | 79 | 2             | 1   | 0     |                                                                                           |                                                       |
|                               | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。                                                                                                | 81 | 0             | 1   | 0     |                                                                                           |                                                       |
|                               | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 57 | 16            | 1   | 8     | ・きょうだい児に対する交流の機会は少ないのかなと思います。<br>・きょうだい児への理解が深まるようなものがあるのかなと思います。                         | きょうだい児が療育センターを知る機会を増やし、きょうだい児の理解が深められる機会がもてるようを検討します。 |
|                               | 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。                       | 78 | 2             | 1   | 1     | 通園に通う前は、あまりプログラムや通園への紹介がなく、こちらから聞いたら教えてくれて知ったことが多かった。通園がこんなに素晴らしいのなら、もっと前から通いたかったと今は思います。 |                                                       |

|         |    |                                                                                              |    |    |   |   |                                                                                                                  |                                            |
|---------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|---|---|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|
|         | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。                                                      | 80 | 1  | 1 | 0 | 口頭だけでなく、紙ベースでも伝えられる方法があり、すぐに返答してくれるし、口頭でも丁寧に伝えてくださります。                                                           |                                            |
|         | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。                   | 57 | 15 | 2 | 8 | 全体での活動について、HPに載っているのかもしれないが、特に案内がないと、なかなか自分からは確認しないので、よく知らないです。                                                  | 災害時の連絡方法について、ホームページ等を使って情報の共有ができるよう、検討します。 |
|         | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。                                                                   | 81 | 1  | 0 | 0 |                                                                                                                  |                                            |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 75 | 4  | 2 | 1 |                                                                                                                  |                                            |
|         | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。                                                 | 73 | 3  | 2 | 4 |                                                                                                                  |                                            |
|         | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。                             | 75 | 2  | 3 | 2 |                                                                                                                  |                                            |
|         | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。                              | 77 | 2  | 1 | 2 |                                                                                                                  |                                            |
| 満足度     | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。                                                                         | 80 | 0  | 1 | 1 | 先生方に会うのを楽しみにしている。                                                                                                |                                            |
|         | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。                                                                           | 77 | 3  | 0 | 2 | ・毎回とても楽しみにしています。こちらに通う前は、こういった楽しみにしちることがなかったので、子供にとってすごくいい経験になっていると思います。<br>・不安に思うことが時々あるようすで、行きしぶりが見られ、よくわからない。 |                                            |
|         | 29 | 事業所の支援に満足していますか。                                                                             | 77 | 4  | 1 | 0 | とても細かく様々な支援をしてくださっているなので感謝の気持ちでいっぱいです。                                                                           |                                            |

公表

## 事業所における自己評価結果

| 事業所名     |    | 横浜市西部地域療育センター<br>(児童発達支援センター)                                                                                                            |    |     | 公表日                                           | 令和7年3月26日                                                                          |
|----------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----|-----------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
|          |    | チェック項目                                                                                                                                   | はい | いいえ | 工夫している点                                       | 課題や改善すべき点                                                                          |
| 環境・体制整備  | 1  | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。                                                                                                             | 16 | 2   |                                               | クラスに関しては適切だと思うが、過ごしの場所は場所も限られているため密になりやすい。                                         |
|          | 2  | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。                                                                                                          | 12 | 6   |                                               | 担任の他に必要に応じたヘルプ職員を配置できていれば適切と思われる。                                                  |
|          | 3  | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。                                                    | 16 | 2   | 設備としてスロープやエレベーター、多目的トイレ、おむつ台がありユニバーサルデザインで良い。 |                                                                                    |
|          | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。                                                                                    | 16 | 2   | 物は片付けやすく手に取りやすい仕組みになっている。                     | 建物の劣化等考えると清潔とはいえない。                                                                |
|          | 5  | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。                                                                                               | 17 | 1   | クラス内でも個別スペースを作成することにより、落ち着けるスペースを確保している。      |                                                                                    |
| 業務改善     | 6  | 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。                                                                                          | 18 | 0   |                                               |                                                                                    |
|          | 7  | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                                                                     | 18 | 0   |                                               |                                                                                    |
|          | 8  | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                                                                                   | 16 | 2   |                                               | 研修などで意見を言う場面はあるが、具体的な業務改善は相談しづらい。                                                  |
|          | 9  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。                                                                                                         | 16 | 2   |                                               |                                                                                    |
|          | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。                                                                                        | 17 | 1   |                                               | ・外部の研修の案内がされることもあるが、精神系・肢体系それぞれ必須の外部研修があってもよいのではないかと。<br>・平日開催は順番にいくなど、資格取得の補助もない。 |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。                                                                                                                  | 18 | 0   |                                               |                                                                                    |
|          | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。                                                                       | 18 | 0   |                                               |                                                                                    |
|          | 13 | 児童発達支援計画を作成するには、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。                                                          | 18 | 0   | 多職種の職員間で共有理解しており、検討が行われている。                   |                                                                                    |
|          | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。                                                                                                      | 18 | 0   |                                               |                                                                                    |
|          | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。                                                      | 18 | 0   |                                               |                                                                                    |
|          | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 18 | 0   |                                               |                                                                                    |
|          | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。                                                                                                                   | 17 | 1   |                                               |                                                                                    |
|          | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。                                                                                                                 | 17 | 1   | わくわく月間などの設定による意識化を行っている。                      |                                                                                    |

|              |    |                                                                                                            |    |    |                     |                                                     |
|--------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|----|---------------------|-----------------------------------------------------|
|              | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。                                                      | 18 | 0  |                     |                                                     |
|              | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。                                            | 17 | 1  |                     |                                                     |
|              | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                                                     | 18 | 0  | 毎日、ていねいな振り返りを行っている。 |                                                     |
|              | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。                                                                     | 18 | 0  |                     |                                                     |
|              | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                                                          | 18 | 0  |                     |                                                     |
| 関係機関や保護者との連携 | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。                                                   | 18 | 0  |                     |                                                     |
|              | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                                                 | 18 | 0  |                     |                                                     |
|              | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 18 | 0  |                     |                                                     |
|              | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。                                                     | 18 | 0  |                     |                                                     |
|              | 28 | (28～30は、センターのみ回答)                                                                                          | 17 | 1  |                     | 適宜連携はとっているが、十分ではないと感じる。                             |
|              |    | 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。                                                 |    |    |                     |                                                     |
|              | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。                                                         | 15 | 3  |                     | 外部研修のInfolはされ、職員の自主性に任されているところがあるので、参加については少ないと感じる。 |
|              | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。                                                                  | 15 | 3  |                     |                                                     |
|              | 31 | (31は、事業所のみ回答)                                                                                              |    |    |                     |                                                     |
|              |    | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。                                                       |    |    |                     |                                                     |
|              | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。                                                                | 3  | 15 |                     | コロナ禍を機に保育園交流を中止した為、復活できるとよいと感じる。                    |
|              | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。                                                           | 18 | 0  |                     |                                                     |
|              | 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。                               | 16 | 2  |                     |                                                     |
|              | 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。                                                                       | 18 | 0  |                     |                                                     |
|              | 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。                             | 18 | 0  |                     |                                                     |
|              | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。                                                         | 18 | 0  |                     |                                                     |
|              | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。                                                         | 18 | 0  |                     |                                                     |

|          |    |                                                                                            |    |   |                                            |                                      |
|----------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------|----|---|--------------------------------------------|--------------------------------------|
| 保護者への説明等 | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 17 | 1 |                                            | 親の会、交流会の実施。きょうだい児支援については不十分と感じる。     |
|          | 40 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。               | 18 | 0 |                                            |                                      |
|          | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。                   | 14 | 4 | まちCOMIメールを活用。                              |                                      |
|          | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。                                                                        | 18 | 0 |                                            |                                      |
|          | 43 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。                                                      | 18 | 0 |                                            |                                      |
|          | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。                                                      | 9  | 9 | まだまだ敷居が高い印象があるが、地元の工業高校に玩具を直してもらおう交流をしている。 |                                      |
| 非常時等の対応  | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。            | 14 | 4 |                                            | 訓練は実施されているものの、本番では活かせることが難しそうなものが多い。 |
|          | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                                  | 16 | 2 |                                            |                                      |
|          | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。                                                        | 18 | 0 |                                            |                                      |
|          | 48 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。                                                     | 18 | 0 |                                            |                                      |
|          | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                               | 17 | 1 |                                            |                                      |
|          | 50 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                                  | 17 | 1 |                                            |                                      |
|          | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。                                                    | 17 | 1 |                                            |                                      |
|          | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。                                                       | 14 | 4 |                                            |                                      |
|          | 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。               | 17 | 1 |                                            |                                      |

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |                                 |    |        |            |
|----------------|---------------------------------|----|--------|------------|
| ○事業所名          | 横浜市西部地域療育センター ピーす鶴ヶ峰（児童発達支援事業所） |    |        |            |
| ○保護者評価実施期間     | 令和6年11月18日                      |    | ～      | 令和6年12月20日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)                          | 52 | (回答者数) | 39         |
| ○従業者評価実施期間     | 令和6年11月18日                      |    | ～      | 令和6年12月20日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)                          | 4  | (回答者数) | 4          |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年3月26日                       |    |        |            |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること                                                   | 工夫していることや意識的に行っている取組等                                                                                                         | さらに充実を図るための取組等                                                        |
|---|----------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|
| 1 | マンネリ化しないように多岐にわたるプログラムを工夫しながら実施することで、こどもの参加意欲を高める努力をしている。プログラム内容やこどもの状況によってサポート人員を配置したりしている。 | こどもが安心して意欲的にプログラムに参加できるように日々、ミーティングの時間を確保し職員間で状況を共有している。5領域を軸に個々におこなっているプログラムを職員間で共有できるように書面にまとめ、共有している。                      | 法人内での実践報告会などを通して、施設内に留まらず、新たな視点やアイデアを得てプログラム開発へつなげていく。                |
| 2 | 療育前後の保護者からの相談対応やZOOMでの講座の実施等、保護者支援に力を入れている。                                                  | 保護者の相談もタイムリーに応じられるように担当者以外の職員も共有している。日々の個別相談や集団での懇談会、1時間設定の個別面談、小集団での勉強会やオンラインでの講座などさまざまなツールを設定し、個々の保護者のニーズに応じられるように環境を整えている。 | 就労されている保護者が多いため登園日以外の勉強会や講座は参加が難しい。そうした状況をふまえて勉強会や講座を登園日中心に設定していく。    |
| 3 | 併行利用している保育所や幼稚園の先生に療育参観に参加してもらい、情報共有や連携をとっている。                                               | 基本的に療育参観は常に受け入れているが、保育所や幼稚園の先生が参加しやすいように夏休みに療育参観日を設定している。また、年に1回、園に訪問し状況の共有をおこなっている。                                          | 保育所や幼稚園の先生がどのように相談したら良いか周知しきれていない状況があるため、保護者を通して連携の仕方などインフォメーションしていく。 |

|   | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること                       | 事業所として考えている課題の要因等                                                     | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                                             |
|---|------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|
| 1 | 限られたスペースでの実施となり、複数クラスがバタニングするような場面では気を遣う場面がある。                   | 共有スペースは、重ならないように事前に調整をしているが、当日のクラスの状況によって予定通りに進まないこともあり、重なってしまうことがある。 | 限られたスペースのため限界はあるが、常に声をかけあって動きが重ならないようにする。                        |
| 2 | 月に2回、避難訓練を実施しているが避難経路など保護者と共有しきれていない。                            | 職員間での確認は実施しているが、保護者に説明するための準備が整わなかった。                                 | 契約時、および月2回の避難訓練時に保護者と避難経路なども共有できるように準備していく。                      |
| 3 | マチコミを活用し、保護者との連絡や情報提供については行えているが、HPやSNS等を活用した情報発信についてはあまりできていない。 | さまざまな制度の変更がある中で、自分たちがおこなっていることの公表準備が追いついていない。                         | 4月より支援プログラムをHPにて公表する。個人情報取り扱いに留意しながら保護者の利便性を考慮しマチコミの活用をより検討していく。 |

| 事業所名                               |    | 公表日                                                                                                                                    |    |               |     |       | 回収数                                                           |                                                                                                      |
|------------------------------------|----|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---------------|-----|-------|---------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 横浜市西部地域療育センター<br>ぴーす鶴ヶ峰（児童発達支援事業所） |    | 令和7年3月26日                                                                                                                              |    |               |     |       | 52名                                                           |                                                                                                      |
|                                    |    |                                                                                                                                        |    |               |     |       | 39名                                                           |                                                                                                      |
|                                    |    | チェック項目                                                                                                                                 | はい | どちらとも<br>いえない | いいえ | わからない | ご意見                                                           | ご意見を踏まえた対応                                                                                           |
| 環境・<br>体制<br>整備                    | 1  | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。                                                                                                         | 37 | 2             | 0   | 0     | クラス毎でのスペースは十分と思いま<br>す。また、トイレや洗面所で他クラスと<br>一緒になると不足を感じます。     | トイレなど共有スペースはクラスの動き<br>が重ならないようにお互いの動きを確認<br>しながらおこなっています。                                            |
|                                    | 2  | 職員の配置数は適切であると思いますか。                                                                                                                    | 37 | 2             | 0   | 0     | 活動の内容によって適切な人数が配置さ<br>れている。                                   | 安全が確保できるように運動プログラム<br>や外出プログラム時は担任以外の職員を<br>配置するようにしています。                                            |
|                                    | 3  | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いま<br>すか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や<br>情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。                                   | 39 | 0             | 0   | 0     | こどもに注視してほしいところ・隠して<br>おきたいところが工夫された環境だと思<br>います。              | こどもが安心して活動に参加できるよう<br>に環境調整は常に心がけています。                                                               |
|                                    | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。<br>また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。                                                                    | 39 | 0             | 0   | 0     |                                                               |                                                                                                      |
| 適切<br>な<br>支<br>援<br>の<br>提<br>供   | 5  | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援<br>が受けられていると思いますか。                                                                                   | 38 | 1             | 0   | 0     | その場で対応したり、次回までに用意し<br>ていたりして対応が早くて感謝していま<br>す。                | 療育終了後に必ずミーティングの時間を<br>設定し、次回に向けて必要な配慮がで<br>ているようにしています。                                              |
|                                    | 6  | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と<br>合っていると思いますか。                                                                                       | 38 | 0             | 0   | 1     | 普段の相談や面談などでアドバイスをも<br>らったり、計画にも入ってもらっていま<br>す。                | 公表している支援プログラムを軸にクラス<br>の状況に応じたプログラムを展開し、<br>こどもの参加状況に併せて調整していま<br>す。                                 |
|                                    | 7  | こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分<br>析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思<br>いますか。                                                       | 37 | 1             | 0   | 1     |                                                               |                                                                                                      |
|                                    | 8  | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供<br>すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支<br>援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体<br>的な支援内容が設定されていると思いますか。    | 39 | 0             | 0   | 0     |                                                               |                                                                                                      |
|                                    | 9  | 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。                                                                                                           | 37 | 2             | 0   | 0     |                                                               |                                                                                                      |
|                                    | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思います<br>か。                                                                                                | 38 | 0             | 0   | 1     | 内容は多岐に渡り子供も楽しみながらで<br>きるようとても工夫されていると思いま<br>す。                | 2か月ごとにプログラムを見直しこども<br>が意欲的に参加できる内容を考えていま<br>す。                                                       |
|                                    | 11 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと<br>活動する機会がありますか。                                                                                     | 25 | 5             | 6   | 3     | 遊んでいた公園で同じ空間を共有してい<br>るが、交流と言うほどの交流は無いと思<br>う。                | 日々、保育所や幼稚園で生活しているこ<br>どもが利用していること、また週1回と<br>いう頻度であるため、他のこどもと活動<br>する機会は設定していません。                     |
| 保護<br>者<br>へ<br>の<br>説<br>明<br>等   | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につい<br>て丁寧な説明がありましたか。                                                                                    | 39 | 0             | 0   | 0     |                                                               |                                                                                                      |
|                                    | 13 | 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。                                                                                                      | 39 | 0             | 0   | 0     |                                                               |                                                                                                      |
|                                    | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング<br>等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われています<br>か。                                                           | 38 | 1             | 0   | 0     | 講座をZOOMで聞くなど、他の家族も参<br>加できるようにしてくれています。                       | 土曜日にオンラインで講座を実施してい<br>ますが、引き続き家族で講座に参加でき<br>るよう工夫を重ねていきます。                                           |
|                                    | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況につ<br>いて共通理解ができていると思いますか。                                                                               | 38 | 1             | 0   | 0     | 療育の初めと終わりに場がもうけられて<br>いてできていると思います。                           | 毎回、送迎をしていただき、活動にも一<br>緒に参加していただく機会を設けている<br>ので、個別にお話しできる時間を整えて<br>いきます。                              |
|                                    | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。                                                                                                        | 37 | 2             | 0   | 0     | 時間がないせいか、始まる前の数分で話<br>さなくてはいけいなので、あたりさわりの<br>ない話しかできないように感じる。 | ・必要に応じて療育終了後にお話できる<br>時間を設定します。<br>・面談以外にもお話しできる時間がある<br>ことを表記します。                                   |
|                                    | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。                                                                                                            | 39 | 0             | 0   | 0     | いつも励まされていて安心できる。                                              | なんでも話ができる環境を整え、共に必<br>要な支援を考えていきます。                                                                  |
|                                    | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流<br>の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ<br>い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら<br>れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 21 | 8             | 2   | 8     | 保護者向けの勉強会等は色々あるが、<br>きょうだい向けの交流等はまだない。                        | ・きょうだいの年齢の幅も広く、低年齢<br>のきょうだいも多いためきょうだい同士の<br>イベントなどは計画していません。<br>・保護者向けの講座できょうだいに関す<br>る勉強会は実施しています。 |

|         |    |                                                                                                      |    |   |   |   |                                                                  |                                                            |
|---------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---|---|---|------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------|
|         | 19 | 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 37 | 1 | 0 | 1 | 時間がないせいか、始まる前の数分で話さなくてはいけないので、あたりさわりのない話しかできないように感じる。            | ・必要に応じて療育終了後にお話できる時間を設定します。<br>・面談以外にもお話しできる時間があることを表記します。 |
|         | 20 | 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。                                                              | 39 | 0 | 0 | 0 |                                                                  |                                                            |
|         | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。                           | 35 | 1 | 0 | 3 |                                                                  |                                                            |
|         | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。                                                                           | 38 | 0 | 0 | 1 | ことばを選んでアナウンスしていただいている。                                           | 個人情報の取扱いにはダブルチェックを徹底するなど十分注意しています。                         |
| 非常時等の対応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。         | 37 | 0 | 0 | 2 |                                                                  |                                                            |
|         | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。                                                         | 39 | 0 | 0 | 0 | 避難訓練などきちんと行われています。                                               | 年に2回、避難訓練を実施しています。                                         |
|         | 25 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。                                     | 37 | 0 | 0 | 2 |                                                                  |                                                            |
|         | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。                                      | 34 | 1 | 0 | 4 |                                                                  |                                                            |
| 満足度     | 27 | 子どもは安心感をもって通所していますか。                                                                                 | 39 | 0 | 0 | 0 | ・場所、人見知りする子だったが、すぐになじんでいた。<br>・とても安心して活動にも意欲的にとりこんでいる。           | ひとりひとりの子どもが安心して通えるように必要な支援を個別に設定していきます。                    |
|         | 28 | 子どもは通所を楽しみにしていますか。                                                                                   | 39 | 0 | 0 | 0 | ・いつも楽しく通わせてもらっています。ありがとうございます。<br>・先生やお友達に会うのが嬉しいようで毎週楽しみにしています。 | 子どもの好きなこと、興味があることを大事にしながら「行きたい」と思って通えることを第一に考えて支援していきます。   |
|         | 29 | 事業所の支援に満足していますか。                                                                                     | 38 | 1 | 0 | 0 | 先生方は丁寧に見て頂き感謝しています。                                              | みなさまに安心して通っていただけるようにコミュニケーションを密にとりながらすすめていきたいと考えます。        |

公表

## 事業所における自己評価結果

| 事業所名     |    | 横浜市西部地域療育センター<br>びーす鶴ヶ峰（児童発達支援事業所）                                                                                                       |    |     | 公表日                                      | 令和7年3月26日                    |
|----------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----|------------------------------------------|------------------------------|
|          |    | チェック項目                                                                                                                                   | はい | いいえ | 工夫している点                                  | 課題や改善すべき点                    |
| 環境・体制整備  | 1  | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。                                                                                                             | 4  | 0   |                                          |                              |
|          | 2  | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。                                                                                                          | 2  | 2   |                                          | クラスのメンバーの状態によっては2担では厳しい所がある。 |
|          | 3  | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。                                                    | 4  | 0   |                                          |                              |
|          | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。                                                                                    | 4  | 0   |                                          |                              |
|          | 5  | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。                                                                                               | 2  | 2   | 個別対応ができる部屋はないが、パーティションなどを用いて空間は作り対応している。 |                              |
| 業務改善     | 6  | 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。                                                                                          | 3  | 1   |                                          |                              |
|          | 7  | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                                                                     | 4  | 0   |                                          |                              |
|          | 8  | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                                                                                   | 4  | 0   |                                          |                              |
|          | 9  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。                                                                                                         | 4  | 0   |                                          |                              |
|          | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。                                                                                         | 3  | 1   |                                          | もう少し色々な研修があってもよいと感じる。        |
| 適切な支援の提供 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。                                                                                                                  | 4  | 0   |                                          |                              |
|          | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。                                                                       | 4  | 0   |                                          |                              |
|          | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。                                                         | 4  | 0   |                                          |                              |
|          | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。                                                                                                      | 4  | 0   |                                          |                              |
|          | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。                                                      | 4  | 0   |                                          |                              |
|          | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 3  | 1   |                                          |                              |
|          | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。                                                                                                                   | 4  | 0   |                                          |                              |
|          | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。                                                                                                                 | 4  | 0   |                                          |                              |

|              |    |                                                                                                            |   |   |                          |                                                 |
|--------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|--------------------------|-------------------------------------------------|
|              | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。                                                      | 4 | 0 |                          |                                                 |
|              | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。                                            | 4 | 0 |                          |                                                 |
|              | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                                                     | 4 | 0 |                          |                                                 |
|              | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。                                                                     | 4 | 0 |                          |                                                 |
|              | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                                                          | 4 | 0 |                          |                                                 |
| 関係機関や保護者との連携 | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。                                                   | 3 | 1 |                          |                                                 |
|              | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                                                 | 3 | 1 |                          |                                                 |
|              | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 4 | 0 |                          |                                                 |
|              | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。                                                     | 4 | 0 |                          |                                                 |
|              | 28 | (28～30は、センターのみ回答)                                                                                          |   |   |                          |                                                 |
|              |    | 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。                                                 |   |   |                          |                                                 |
|              | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。                                                         |   |   |                          |                                                 |
|              | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。                                                                  |   |   |                          |                                                 |
|              | 31 | (31は、事業所のみ回答)                                                                                              | 3 | 1 |                          |                                                 |
|              |    | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。                                                       |   |   |                          |                                                 |
|              | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。                                                                | 1 | 3 |                          | 週1回いろいろな園に通う子がクラスとして集まっていて、地域に出向いたり迎え入れての交流はない。 |
|              | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。                                                           | 4 | 0 | 来所時に毎回話ができるように時間を設定している。 |                                                 |
|              | 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。                               | 3 | 1 | 土曜日にZOOMを用いた勉強会を実施している。  |                                                 |
|              | 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。                                                                       | 4 | 0 |                          |                                                 |
|              | 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。                             | 4 | 0 |                          |                                                 |
|              | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。                                                         | 4 | 0 |                          |                                                 |
|              | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。                                                         | 4 | 0 | 年3回の面談以外にも相談は常に受けている。    |                                                 |

|          |    |                                                                                            |   |   |                                           |  |
|----------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|-------------------------------------------|--|
| 保護者への説明等 | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 2 | 2 | 父母の会は設定していないが、懇談会を毎回おこなっており交流する機会はつくっている。 |  |
|          | 40 | 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。               | 4 | 0 |                                           |  |
|          | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。                   | 4 | 0 |                                           |  |
|          | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。                                                                        | 4 | 0 |                                           |  |
|          | 43 | 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。                                                      | 4 | 0 |                                           |  |
|          | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。                                                      | 2 | 2 |                                           |  |
| 非常時等の対応  | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。            | 4 | 0 |                                           |  |
|          | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                                  | 3 | 1 |                                           |  |
|          | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。                                                        | 4 | 0 |                                           |  |
|          | 48 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。                                                     | 4 | 0 |                                           |  |
|          | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                               | 4 | 0 |                                           |  |
|          | 50 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                                  | 4 | 0 |                                           |  |
|          | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。                                                    | 4 | 0 |                                           |  |
|          | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。                                                       | 4 | 0 |                                           |  |
|          | 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。               | 4 | 0 |                                           |  |

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |                        |   |        |   |
|----------------|------------------------|---|--------|---|
| ○事業所名          | 横浜市西部地域療育センター 保育所等訪問支援 |   |        |   |
| ○保護者評価実施期間     | 令和6年12月1日              |   | ～      |   |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)                 | 6 | (回答者数) | 5 |
| ○従業者評価実施期間     | 令和7年2月1日               |   | ～      |   |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)                 | 4 | (回答者数) | 4 |
| ○訪問先施設評価実施期間   | 令和6年12月1日              |   | ～      |   |
| ○訪問先施設評価有効回答数  | (対象数)                  | 6 | (回答数)  | 5 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和7年3月26日              |   |        |   |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること                                      | 工夫していることや意識的に行っている取組等                                                                              | さらに充実を図るための取組等                                                                                     |
|---|---------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 発達障害児や肢体不自由児の療育経験のある保育士が在籍している。療育センター外の保育所等の環境を評価しながら、児童のニーズに即して、支援を提案することができる。 | 療育センターに在籍する、中度から重度の知的発達の遅れのある児童と、肢体不自由のある児童全員の支援方針を検討している。また、保育所等訪問支援事業を契約しない方にも、状況に応じたプランを検討している。 | 保護者の就労や傷病により、療育センターへの頻回な来所が難しい家族に対して、児童の福祉の観点から、より個別性の高い適切な保育が受けられるよう、療育センター外での支援ができる保育士の人材育成に努める。 |
| 2 | 保育所等訪問支援事業とは別に、関係機関連携として巡回訪問を実施しており、在園する児童の支援とともに、クラス全体や園全体への支援と連動することができる。     | 巡回訪問の窓口となるソーシャルワーカーと、保育所等訪問支援事業を担当する保育士が密に連絡をとり、園全体の支援と個別の児童の支援が効率的に行えるよう調整している。                   | 比較的重度の児童を保育する保育所等をつなげ、地域全体で保育力の底上げを引き続き行っていく。                                                      |
| 3 | 療育センター内で多職種と連携することで、児童の評価の精度を高め、支援方針を検討することができる。                                | 保護者が養育の主体者となれるよう、保護者と児童の評価や支援内容を共有している。また、療育センター外来利用時に面談時間を設定するなど、多忙な保護者の負担軽減に努めている。               | 児童のニーズを明らかにし、代弁者として保育所等や保護者と話し合いを重ね、児童の理解を深めていく。                                                   |

|   | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等                                                                        | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                       |
|---|--------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|
| 1 | 保育所等訪問支援事業に主に従事する保育士（または、児童指導員）の人材不足       | 療育センター内でのサービス提供の人員以外に、関係機関支援ができるような人員体制の予算組がなされていない。通園療育のクラス数とは別に、保育所等訪問支援事業を担う人員の配置が必要。 | 横浜市こども青少年局との協議、これからの時代の療育センターのあり方について検討する。 |
| 2 | 保育所等に出向くときに時間やコストがかかる。                     | 区を所管するためカバーするエリアが広く、保育所等に出向くときに時間やコストがかかる。                                               | 交通費の公費補助（公用車、自転車、タクシー、コインパーキング等）           |
| 3 | 複数の業務を行うため、事務作業に追われ、臨床業務の時間が削られる。          | 書式の定型化                                                                                   | I T 機器の活用、S E 事務職員の配置                      |

公表

## 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 横浜市西部地域療育センター  
保育所等訪問支援

公表日 令和7年3月26日

利用児童数 6名

回収数 5名

|                                      |    | チェック項目                                                                                               | はい | どちらとも<br>いえない | いいえ | わからない | ご意見                    | ご意見を踏まえた対応                                   |
|--------------------------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|---------------|-----|-------|------------------------|----------------------------------------------|
| 環境・<br>体制<br>整備                      | 1  | 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。                                                                             | 3  | 0             | 0   | 2     |                        |                                              |
|                                      | 2  | プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。                                                                          | 4  | 1             | 0   | 0     |                        |                                              |
|                                      | 3  | 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。                                                                              | 5  | 0             | 0   | 0     |                        |                                              |
|                                      | 4  | 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。                                                                    | 4  | 1             | 0   | 0     |                        |                                              |
| 適切<br>な<br>支<br>援<br>の<br>提<br>供     | 5  | こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。                                                                | 5  | 0             | 0   | 0     |                        |                                              |
|                                      | 6  | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。                                                     | 4  | 1             | 0   | 0     |                        |                                              |
|                                      | 7  | こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。                           | 4  | 1             | 0   | 0     |                        |                                              |
|                                      | 8  | 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。                                                    | 4  | 1             | 0   | 0     |                        |                                              |
|                                      | 9  | 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。                     | 4  | 0             | 0   | 1     |                        |                                              |
|                                      | 10 | 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。                                                                       | 5  | 0             | 0   | 0     |                        |                                              |
|                                      | 11 | 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。                                                            | 4  | 1             | 0   | 0     |                        |                                              |
| 保<br>護<br>者<br>へ<br>の<br>説<br>明<br>等 | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。                                                              | 4  | 0             | 0   | 1     |                        |                                              |
|                                      | 13 | 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。                                                                  | 5  | 0             | 0   | 0     |                        |                                              |
|                                      | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。                                | 4  | 0             | 0   | 1     |                        |                                              |
|                                      | 15 | 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。                                            | 4  | 0             | 0   | 1     |                        |                                              |
|                                      | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。                                                                      | 3  | 2             | 0   | 0     | 訪問の頻度がもう少し多いといいと感じました。 | お子さんの状況や保護者・訪問先施設のご意向を確認しながら、頻度やタイミングを検討します。 |
|                                      | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。                                                                          | 4  | 0             | 0   | 1     |                        |                                              |
|                                      | 18 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 4  | 1             | 0   | 0     |                        |                                              |
|                                      | 19 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。                                                              | 5  | 0             | 0   | 0     |                        |                                              |
|                                      | 20 | 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。                                                        | 5  | 0             | 0   | 0     |                        |                                              |

|         |    |                                                                       |   |   |   |   |  |  |
|---------|----|-----------------------------------------------------------------------|---|---|---|---|--|--|
|         | 21 | 保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。                   | 5 | 0 | 0 | 0 |  |  |
|         | 22 | 保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。                            | 5 | 0 | 0 | 0 |  |  |
| 非常時等の対応 | 23 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。 | 2 | 1 | 0 | 2 |  |  |
|         | 24 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。                                            | 5 | 0 | 0 | 0 |  |  |
|         | 25 | 事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。                         | 4 | 0 | 0 | 1 |  |  |
| 満足度     | 26 | 事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。      | 5 | 0 | 0 | 0 |  |  |
|         | 27 | 子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。                                                   | 5 | 0 | 0 | 0 |  |  |
|         | 28 | 事業所の支援に満足していますか。                                                      | 4 | 0 | 0 | 1 |  |  |

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

| 事業所名                                                                                                           |                                         | 公表日 令和7年3月26日   |               |                                                        |                                                        |                                         |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|-----------------|---------------|--------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|-----------------------------------------|
| 横浜市西部地域療育センター<br>保育所等訪問支援                                                                                      |                                         | 利用児童数 6名 回答数 5名 |               |                                                        |                                                        |                                         |
|                                                                                                                | チェック項目                                  | はい              | どちらとも<br>いえない | いいえ                                                    | ご意見                                                    | ご意見を踏まえた対応                              |
| 1                                                                                                              | 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。 | 5               | 0             | 0                                                      | お子さんの様子にあったことを私たちにもわかりやすい具体例を挙げつつ話してくれました。             | 今後も具体的でわかりやすい助言・説明を心掛けていきます。            |
| 2                                                                                                              | 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。            | 5               | 0             | 0                                                      | 園の方針を理解してそれに沿った支援の工夫を伝えてくれて参考になった。                     | 今後も園の方針も伺いながら、支援の工夫を考えていけたらと思います。       |
| 3                                                                                                              | 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。         | 5               | 0             | 0                                                      | その都度丁寧に助言して下さるので、とても参考になります。                           | 今後も質問に対し、適時・適切に対応していきたいと思います。           |
| 4                                                                                                              | 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。 | 5               | 0             | 0                                                      | 現時点では課題や困りごとが解消したとは思えないが、情報を共有出来たことは、負担が少し軽くなったかもしれない。 | 今後も情報共有を行いながら、課題や困りごとの軽減を行っていききたいと思います。 |
| 5                                                                                                              | 事業所からの支援に満足していますか。                      | 5               | 0             | 0                                                      | 保育園としては満足していますが、お子さんの満足はいかがだったかと心配です。                  | 保育園と連携して、お子さんのニーズの汲み取りを行います。            |
| その他のご意見                                                                                                        |                                         |                 |               | ご意見を踏まえた対応                                             |                                                        |                                         |
| 訪問支援員の助言が得られ、保護者の考えていることを違う角度から知ることができ、問題を抱え込んだり、一方的な考えで対処することなく本人への支援が透明性のあるものになり、良かったと思う。出来る事なら卒園まで続けてほしいです。 |                                         |                 |               | 引き続き、ご家族・訪問先施設と連携しながら、お子さんの安定した生活に向けて支援を行っていききたいと思います。 |                                                        |                                         |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名                                 |    | 横浜市西部地域療育センター<br>保育所等訪問支援                                                                   |    |     | 公表日                                                 | 令和7年3月26日                                                     |
|--------------------------------------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----|-----------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
|                                      |    | チェック項目                                                                                      | はい | いいえ | 工夫していると思う点・改善が必要だと<br>思われる点など                       | 課題や改善すべき点                                                     |
| 環<br>境<br>・<br>整<br>備<br>・<br>運<br>営 | 1  | 訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。                                                                    | 4  | 0   |                                                     |                                                               |
|                                      | 2  | 利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。                                                                    | 4  | 0   |                                                     |                                                               |
| 業<br>務<br>改<br>善                     | 3  | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、<br>広く職員が参画しているか。                                          | 4  | 0   |                                                     |                                                               |
|                                      | 4  | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け<br>ており、その内容を業務改善につなげているか。                                    | 3  | 1   |                                                     |                                                               |
|                                      | 5  | 従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善<br>につなげているか。                                                 | 4  | 0   | 業務改善までに繋がられているかどうかは不<br>明。                          | 情報共有した情報を、その後の活動に活かせる<br>仕組みの構築。                              |
|                                      | 6  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている<br>か。                                                        | 3  | 1   |                                                     |                                                               |
|                                      | 7  | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で<br>研修を開催する機会が確保されているか。                                       | 3  | 1   | 個々の力量に任されているところが多い。                                 | 研修の機会は確保されているものの、習得状<br>況を確認する機会であったり、スキルの均一<br>化を図っていくことが課題。 |
| 適<br>切<br>な<br>支<br>援<br>の<br>提<br>供 | 8  | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者<br>のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を<br>作成しているか。                | 4  | 0   |                                                     |                                                               |
|                                      | 9  | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者<br>だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こども<br>の最善の利益を考慮した検討が行われているか。  | 4  | 0   |                                                     |                                                               |
|                                      | 10 | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と<br>連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。                                | 4  | 0   |                                                     |                                                               |
|                                      | 11 | 保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行<br>われているか。                                                   | 4  | 0   |                                                     |                                                               |
|                                      | 12 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー<br>マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな<br>アセスメントを使用する等により確認しているか。 | 2  | 2   |                                                     |                                                               |
|                                      | 13 | 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保<br>育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容<br>が設定されているか。              | 3  | 1   | ガイドラインはきちんと目を通したことがな<br>いので、各々確認する必要がある。            | ガイドラインやマニュアル等の周知や確認機<br>会の確保。                                 |
|                                      | 14 | 保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行<br>われているか。                                                   | 4  | 0   |                                                     |                                                               |
|                                      | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の<br>内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行ってい<br>るか。                     | 3  | 1   | ・訪問日の共有はしているが、具体的内容ま<br>では確認していない。<br>・訪問担当が中心の仕組み。 | 選任チームや担当ではないがための情報共有<br>等の実施方法の確立。                            |
|                                      | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援<br>の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                                  | 3  | 1   |                                                     |                                                               |
|                                      | 17 | 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重し<br>て支援を行っているか。                                               | 4  | 0   |                                                     |                                                               |
|                                      | 18 | 毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善<br>に繋げているか。                                                  | 4  | 0   |                                                     |                                                               |
|                                      | 19 | 定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育<br>所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っ<br>ているか。                   | 4  | 0   |                                                     |                                                               |

|              |    |                                                                                            |   |   |                                                       |                                                 |
|--------------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|-------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。                                   | 2 | 2 |                                                       |                                                 |
|              | 21 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                                 | 3 | 1 |                                                       |                                                 |
|              | 22 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。                                     | 3 | 1 | 今年度は保育園にお任せしてしまうことが多かった。そのため、次年度は計画的に役割分担などしていく必要がある。 | ・マンパワー不足。<br>・職員の育成や業務のスリム化を図っていくことも必要。         |
|              | 23 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。                                          | 2 | 2 |                                                       |                                                 |
|              | 24 | (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。                                                  | 3 | 1 |                                                       |                                                 |
|              | 25 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。                                            | 3 | 1 | 家庭状況もあり日頃からのやり取りは多くない。                                | 連絡が取りにくい中での伝達内容等の創意工夫。                          |
|              | 26 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。               | 2 | 2 |                                                       |                                                 |
| 保護者等への説明等    | 27 | 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。                                                               | 4 | 0 |                                                       |                                                 |
|              | 28 | 訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。                                                   |   |   |                                                       |                                                 |
|              | 29 | 保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。           | 4 | 0 |                                                       |                                                 |
|              | 30 | 「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。                                     | 4 | 0 |                                                       |                                                 |
|              | 31 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。                                            | 4 | 0 |                                                       |                                                 |
|              | 32 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。 | 2 | 2 | ・きょうだい同士で交流する機軸は少ない。<br>・家庭事情もあり、保護者同士繋がりを作ることは難しい。   | 状況的に会を催したり交流する場の提供は難しいので、個々の対応の中でフォローとならざるを得ない。 |
|              | 33 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。               | 4 | 0 |                                                       |                                                 |
|              | 34 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。                        | 1 | 3 |                                                       |                                                 |
|              | 35 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。                                                                        | 4 | 0 |                                                       |                                                 |
| 訪問先施設への説明等   | 36 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。                                                      | 4 | 0 |                                                       |                                                 |
|              | 37 | 訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。                                             | 4 | 0 |                                                       |                                                 |
|              | 38 | 保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。                                                        | 4 | 0 |                                                       |                                                 |
|              | 39 | 保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。                                                      | 4 | 0 |                                                       |                                                 |
|              | 40 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。                                                                        | 4 | 0 |                                                       |                                                 |

|         |    |                                                                                 |   |   |  |  |
|---------|----|---------------------------------------------------------------------------------|---|---|--|--|
|         | 41 | 訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。                                      | 4 | 0 |  |  |
| 非常時等の対応 | 42 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 3 | 1 |  |  |
|         | 43 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                    | 3 | 1 |  |  |
|         | 44 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。                                         | 3 | 1 |  |  |
|         | 45 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。                                            | 4 | 0 |  |  |
|         | 46 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。    | 3 | 1 |  |  |